

令和4年度 第1回青年部活動報告書(令和4年.4.1～令和4年.6.30)

全青会理事提出日 第1回 令和4年 6月 25日

県名: 九州BC  
 報告日: 2022/6/23  
 報告者: 九州BC 三石

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
福岡県	6月13日	総会をZOOMにて開催
佐賀県	6月3日	第29回 通常総会 場所: 佐賀県鉄構工業会事務局 (5名)
長崎県	3月4日 4月19日 5月17日	第5回役員会 (ZOOM) 令和4年度第1回役員会 令和4年度総会
大分県	4月22日 5月17日	第1回青年部役員会 青年部総会
宮崎県	5月9日 5月16日 7月末日	青年部会幹事会: 対面 青年部会通常総会: 対面 (出席者15名 委任状3名) 溶接協会と合同で溶接ヒューム関連の説明会実施 青年部、賛助会員でのゴルフコンペ、懇親会予定
鹿児島県	5月20日 6月3日 6月18日	通常総会 全国中小企業青年中央会 創立30周年式典、表彰式、講演会 (東京都) 第2回役員会(対面)
沖縄県	4月14日 5月17日 6月14日	青年部営業部会(受注物件の報告・工場の山積状況の報告)ZOOM 青年部営業部会(受注物件の報告・工場の山積状況の報告)ZOOM 青年部営業部会(受注物件の報告・工場の山積状況の報告)対面



2. ブロックの活動報告

年月日	内容
1月24日 3月28日 4月6日 5月11日 6月13日	第7回役員会(ZOOM) 第8回役員会(ZOOM) 3地区(南地区)会長会議(ZOOM) 第1回役員会(ZOOM) 第2回役員会(ZOOM)・第30回総会(ZOOM)



3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内容
	特になし

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内 容
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きの材料の高騰への対応に苦慮している。</li> <li>・見積は来年夏以降の引き合いが来ているが全体的中小物件が少ない状況は変わっていない</li> <li>・大型プロジェクトが同時期に複数動いている兼ね合いで現場作業員の確保が難しくなってきた上に、単価も上昇している。</li> <li>・受注単価は引き続き厳しく、消耗品含めた物価の高騰により相対的に下がっている。</li> <li>・今後の懸念は円安と戦争の影響による景気の後退と思われる。</li> </ul>
長崎県	<p>Hグレードは来年までの手持ちを確保、9月くらいから稼働率100%超える予想。</p> <p>Mグレード以下においては、全体的に見積り件数は多い、受注はばらつきがあるが6月が全体的に薄い、しかし8月以降は全体的に稼働率は向上する予想。</p> <p>どちらにしても、鋼材、部品、溶材の高騰にて受注金額を圧迫し、元請との契約が難しくなっている。</p>
大分県	<p>HグレードはR5年まである程度受注を確保している。</p> <p>Mグレードは見積も少なく、3～4ヶ月後以降の受注がかなり不透明な状況。</p> <p>鋼材価格がまだまだ上昇する可能性が高いので、見積単価がかなり決めづらい。</p>
宮崎県	<p>Hグレードに関しては10か月以上と順調に回復しているがMグレード以下についてはばらつきがある。</p> <p>県内の受注見込みについては材料価格(鋼材、副資材)の高騰に加え、燃料の高騰により輸送費のコストアップ等により民間の設備投資が停滞との見方が強く先行き不透明。</p> <p>単価に関しては材料高騰分の転嫁が進んでないように感じる。</p>
鹿児島	<p>鋼材納期の遅延、様々な単価の上昇が起こり、受注するにも確認が必要な状況であると感じます。</p>
沖縄県	<p>6月8日に今年度の青年部顔合わせを対面で行いました。</p> <p>「ノズル・チップ活動」を継続する旨を説明し協力を依頼</p> <p>青年部主体で各FABから参加者を募り、焼抜栓溶接、高力ボルト技術者の資格取得活動案</p>